

平成 23 年度の総合水産試験場の取り組みについて

長崎県総合水産試験場 企画開発推進室

総合水産試験場は、平成 9 年の供用開始以来、今年で 15 年目を迎えました。皆様には、日頃から試験研究の推進にご支援、ご協力を賜わり、厚くお礼申し上げます。

当試験場においては、平成 23 年度から 27 年度を計画期間として本県水産業振興の指針となる新しい「長崎県水産業振興基本計画」に基づいて実施される各種施策の実現に必要な試験研究および技術開発を計画的に推進していきます。

また、「開かれた試験場」として、加工機器などの各種設備を広く開放し、水産業界や県民の皆様の要望に即した試験研究や技術指導を行っています。

本年度の主な取り組みについてお知らせいたします。

分野別の研究事業件数と事業費

(研究分野)	(件数)	(万円)
水産資源・漁業技術	7	4,155
栽培漁業	3	864
種苗生産技術開発	7	3,876
沿岸環境保全	3	1,196
養殖漁業経営安定	3	1,440
水産加工・流通	3	992
その他(プロジェクト研究等)	2	1,414
合計	28	13,937

主な事業と新規事業の紹介

1 漁海況情報提供強化事業 (事業費 450万円)

漁業操業の効率化を図る上で必要な情報提供を充実するため、従来の漁海況調査に加え、人工衛星による漁場情報などを取り入れ、精度の高い漁海況予報を作成しています。また、隣県等の他機関と連携した情報の広域化や、ホームページ・携帯サイトの充実など情報入手の利便性向上に取り組んでいます。

2 地域型資源管理予測技術開発試験 (事業費 174万円)

長崎県周辺海域における地域特産魚種の資源の適正な利用を目的として、カタクチイワシ、ケンサキイカ等を対象に漁獲実態や生態等の基礎資料を収集し、資源評価の手法を開発します。

3 クエ資源管理技術開発事業（新規） （事業費 174万円）

クエ資源の持続的利用を図るため、本種の資源生物学や生態学的知見の解明、資源的確な評価および効果的な放流手法の開発を行い、種苗放流と資源管理を組み合わせた資源管理手法の検討を行います。

4 良質な種苗の生産技術開発研究事業（新規） （事業費 1,595万円）

基礎技術の開発から技術移転までをスピードアップし、養殖または放流により適した質の高い種苗（クエ、クロマグロ、カワハギ等）を生産する技術を開発します。

5 養殖魚類の育種技術開発研究事業（新規） （事業費 1,118万円）

トラフグ、ホシガレイ等について、既存の養殖魚と質的差別化を図り、価格競争において優位に立てる品種を作出するため、最新の育種技術を取り入れた種苗生産技術を開発します。

6 貝類の新養殖技術開発（新規） （事業費 261万円）

マガキのシングルシード（一粒種苗）を用いた養殖技術や、タイラギの稚貝を用いた中間育成や効率的な出荷サイズまでの基礎的な飼育方法などの技術を開発します。

7 有害赤潮プランクトン等監視調査事業 （事業費 498万円）

有害赤潮や貝毒の原因プランクトンの出現・増殖特性を把握し、県内全域を対象に得られた情報を発信するとともに、赤潮・貝毒の発生情報交換を迅速に行うことにより漁業被害の未然防止を図ります。橘湾や小佐々町楠泊地区では、平成22年度から始めた集中的な調査により赤潮の挙動を把握し、被害軽減対策を検討します。

8 養殖安定化技術開発試験 （事業費 412万円）

魚類養殖業の経営安定を図るため、養殖魚種の多様化に向けた新たな魚種（ハタ類、カワハギ等）について、成長を促進する飼料添加物や効率的な給餌方法等を研究し養殖技術を開発します。

9 県産冷凍すり身の新たな製法とその利用法の開発（事業費 776万円）

当試験場が開発した、糖類や食塩、リン酸塩の添加を必要としない独自の冷凍すり身化技術を基に、原料魚ごとに異なるタンパク質の特性に合わせた加工法の開発に取り組んでいます。カロリーや食塩の摂取を制限されている消費者も含めた新たな販路（病院・給食施設等）の開拓が期待されます。

西海区水産研究所および長崎大学との連携

当試験場に隣接する「独立行政法人水産総合研究センター西海区水産研究所」およ

び「長崎大学環東シナ海環境資源研究センター」と連携して試験研究を促進するため、施設一般公開「ながさき水産科学フェア」や意見交換会、各種会議の協賛・後援等を行います。

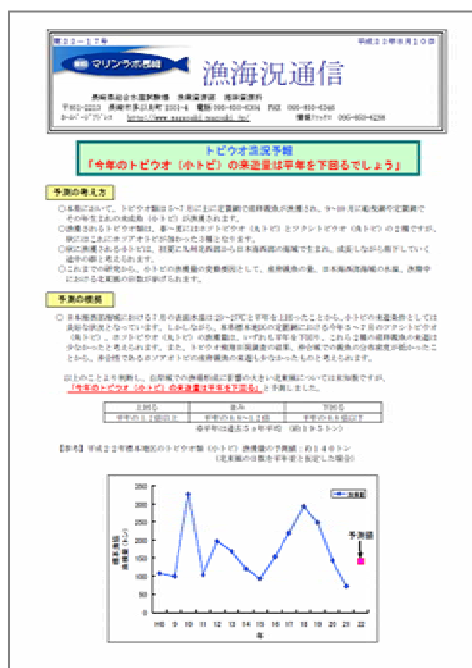
情報の発信

当試験場が取り組む試験研究について、皆様に理解と関心を深めていただくために、各地域で研究内容や成果の紹介と意見交換を行う「移動水産試験場(出前水試)」を開催しています。また、ホームページや携帯サイト等による情報提供を行っています。

漁海況情報の充実

漁業活動への支援のため、様々な情報を、毎週金曜日に発行する「漁海況週報」や随時発行する「漁海況通信」で提供しています。「漁海況通信」は、情報が漁業者の皆様目の届く機会を増やすために、掲示できるサイズで市町、漁協に配布しています。平成22年度は次のような情報などをお知らせしました。

- ・ 県内の漁業種類毎の漁獲状況
- ・ 鳥取県から長崎県沖のケンサキイカの漁獲状況
- ・ 底層水温の状況
- ・ 春の西彼・橘湾地区のカタクチイワシの漁況予報
- ・ 秋の県北地区の小トビの漁況予報
- ・ 対馬地区のヨコワの漁況予報
- ・ 五島地区のアオリイカおよびスルメイカの漁況予報



「漁海況通信」(A3版)

インターネットホームページ

主な内容は、施設紹介、研究計画、研究報告、情報サービス、漁海況情報、ニュース、試験研究情報です。図集「長崎県の漁具・漁法」や魚の捌き方なども掲載しています。

携帯サイト

赤潮、水温情報などを掲載しています。携帯電話のバーコードリーダーで下のQRコードを読み込むとサイトへジャンプします。

HPアドレス

<http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/>

携帯サイトアドレス

<http://www.marinelabo.nagasaki.nagasaki.jp/mobile/>



QRコード

ホームページ(トップ)

「開かれた試験場」として、水産業に直結した役立つ試験研究を推進してまいりますので、皆様のご意見、ご要望がありましたら、最寄りの水産業普及指導センターか、直接、当試験場(095 850 6293)までご連絡いただきますようお願いいたします。